

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	柏市こども発達センターキッズルームひまわり 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	16施設	(回答数) 16施設
○事業者向け自己評価表作成日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・各専門職と連携をとり、様々な視点で支援ができる。	・お子さんの様子や課題により、各専門職へ相談や同行依頼をし、専門的視点からの助言を支援に役立てている。 ・保護者、担任からの要望で専門職に繋げた。	・専門職の同行を定期的に行えるよう調整を図る。
2	・発達障害児、肢体不自由児を含む、様々なお子さんへの支援を行っている。	・お子さんの特性に合わせ、知識や経験のある職員が各専門職とともに支援にあたっている。	・専門職や訪問先、関係機関ときめ細やかに連携をとり情報共有をしていく。 ・職員のスキルアップを図る。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・学齢児に対する支援体制	・学齢児支援を今年度から始めたため、スキルや経験が少ない。	・学校の教員との連携の他、研修や他事業所との情報共有等から学び、実際の支援に繋げていく。 ・今後の支援の充実につなげるため、事業所評価と共に意見要望等を聞くアンケートを実施した。
2	・保護者や訪問先への連絡や情報提供等の手段	・報告や連絡は、電話、郵送での対応が殆どとなっている。	・アプリや会議システム等の活用。 ・就学説明会にオンラインでの参加を取り入れた。
3			